



リチウムイオンバッテリー (日本仕様)



ユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。
<http://si.shimano.com>

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方向けのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

液もれ、発熱、発火、破裂などによるやけどやけがを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

- 充電は当社指定の充電器を使用し、当社指定の充電条件を守る。発熱、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーをストーブなどの熱源のそばに放置しない、またバッテリーを火の中に投入したり、加熱しない。破裂、発火の原因になります。
- バッテリーに直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない。液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。
- (+) (-) 端子を金属等で接続しない。バッテリーと金属性のネックレスやヘアピンと一緒に持運んだり、保管しない。ショート、発熱し、やけど・怪我の原因となります。
- バッテリーを水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない。発熱・破裂・発火の原因となります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げたりしない。発熱、破裂、発火の原因になります。

警告

- バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で充分洗った後、直ちに医師の治療を受ける。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- 所定充電時間を2時間超えてもなお、バッテリーを充電している場合は、ただちにコンセントを抜いて、販売店へ相談する。発熱、破裂、発火の原因となります。
- バッテリーの使用温度範囲は以下です。範囲外での使用はしない。範囲外での使用、保管は発火・障害・故障の原因となります。
 1. 放電時：-10℃～50℃
 2. 充電時：0℃～40℃
- 外装に目立ったキズや破損のあるバッテリーは使用しない。破裂、発熱、故障の原因となります。
- バッテリーに液もれや、変色、変形その他異常が発生した場合は使用を中止する。破裂、発熱、故障の原因となります。
- 充電は水のかかる場所や湿気の多い場所、屋外では行わない。火災・発火・発熱・感電の原因となります。
- プラグの抜き差しは水に濡れた状態で行わない。感電の恐れがあります。もしプラグ内が濡れた場合には乾燥させた後に挿してください。
- ユーザーマニュアルはよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

- バッテリーを直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しない。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
- バッテリーの液が皮膚、衣類に付着した場合、ただちにきれいな水で洗い流す。皮膚に傷害を起こす原因となります。
- バッテリーは乳幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- 製品は両手で取扱う。落下して破損したり、けがをする恐れがあります。
- バッテリーの放電、充電動作中にエラーが発生した場合は速やかに使用を停止し、ユーザーマニュアルを確認する。ご不明の場合は、販売店または代理店にご相談ください。

使用上の注意

充電はバッテリー残量によらず自由に行えますが、以下の場合、満充電まで一気に充電してください。その際、必ず専用充電器を使用してください。

- 購入した状態ではバッテリーは満充電されていません。走行する前に必ず満充電まで充電してください。
- サイクルコンピューターのLCDが表示されない場合は、バッテリーを満充電してください。バッテリー残量が表示に影響する場合があります。

- バッテリーを完全に放電しきった際は、速やかに充電してください。そのまま放置した場合、バッテリーの劣化が進行し、使用できなくなる場合があります。
- バッテリーの電源ボタンを押してもLEDディスプレイが点灯しない場合は、保護回路が働いています。充電器を接続し、充電状態にすると解除されます。
- 5℃以下の低温環境で充電した場合、1満充電あたりの走行距離が短くなります。これはバッテリーの特性上の現象で、常温で充電すると元に戻ります。
- 充電器のユーザーマニュアルもあわせてお読みください。
- 通常の使用において自然に生じた摩耗及び品質の経年劣化は保証いたしません。

主な仕様

バッテリー本体	リチウムイオン
公称容量 ¹	BT-E6010 (日本仕様) / BT-E8014 (日本仕様)：11.6 Ah BT-E8010 (日本仕様)：14 Ah
定格容量 ²	BT-E6010 (日本仕様) / BT-E8014 (日本仕様)：10.9 Ah BT-E8010 (日本仕様)：13 Ah
使用環境温度範囲	放電時：-10℃～50℃ 充電時：0℃～40℃
公称電圧	36 V

* 1 充電池の製造者が指定する設計上の容量を表します。

* 2 規定の条件下で放電した場合に取り出せる電気量を表します。

はじめに

出荷状態では、バッテリーはすぐに使用できる状態ではありません。専用充電器で充電することでバッテリーが使用可能になります。必ず充電してから使用してください。バッテリー上のLEDが点灯すれば使用可能です。

乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- バッテリー残量は十分にありますか。
- バッテリーは正しく取付いていますか。

取扱方法

■ 充電時間

充電時間は、バッテリーの残量および使用する充電器によって異なります。所定充電時間については、充電器のユーザーマニュアルをご参照ください。

このバッテリーはリチウムイオンバッテリーです。当社指定の専用充電器を使用してください。充電方法については、充電器についているユーザーマニュアルに従ってください。

■ バッテリーの保管方法

- 長期間自転車に乗らない場合は、バッテリー残量が約70%の状態自転車を保管してください。また完全放電しないように半年に1度充電してください。

- バッテリー単体、もしくはバッテリーを組付けた自転車は、直射日光や雨が当たらない涼しい屋内(目安：10～20℃)で保管してください。保管温度が低い場合、及び高い場合は、バッテリーの性能は低下し、使用できる時間が短くなります。長期間保管後使用する際は、必ず充電させた後に使用してください。

■ バッテリーの寿命について


- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれ、バッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間、走行距離が大幅に短くなった場合は、寿命とされますので新しいものをご購入ください。

- 寿命は保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

■ 使用済バッテリーについて

リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みのバッテリーに関しては、お住まいの地域のルールに従ってください。ご不明の場合は販売店または代理店にご相談ください。

日本国内でのバッテリーリサイクルは、最寄りのリサイクル協力店へ持ち込んでください。詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。ホームページ：https://www.jbrc.com



**ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に
関する情報**

このシンボルマークはEU域内のみ有効です。使用済みのバッテリー廃棄については、お住まいの地域のルールに従ってください。ご不明の場合は販売店または代理店にご相談ください。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 **シマノ**
堺市堺区松岡3丁77番地 〒590-8577